平成２０年１０月２０日

各　　位

会 社 名　あすか製薬株式会社
代表者名　取締役社長　山口　隆
（コード番号　４５１４　東証第一部）
問合せ先　法務広報部長　小松　哲
（ＴＥＬ．０３－５４８４－８３６６）

更年期障害治療剤「メノエイド®コンビパッチ」の製造販売承認取得について

当社は、平成 20 年 10 月 16 日付で、更年期障害治療剤「メノエイド®コンビパッチ」の製造販売承認を取得いたしましたのでお知らせします。

メノエイド®コンビパッチは、更年期障害治療におけるホルモン補充療法のために開発された「更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経系症状（Hot flush 及び発汗）」の効能を有する国内初の医療用配合貼付剤であり、一枚の貼付剤中に有効成分である卵胞ホルモン（エストラジオール）と黄体ホルモン（酢酸ノルエチステロン）を含有しています。本剤はすでに米国・カナダ・スイス等主要国で発売されており、高い有効性と安全性が認められています。

メノエイド®コンビパッチは以下の特長を有します。

１．更年期障害治療のホルモン補充療法では一般的に、卵胞ホルモンと黄体ホルモンの 2 種類の薬剤が併用されますが、メノエイド®コンビパッチは、両ホルモンを一剤に配合した製剤であり、国内で初めて黄体ホルモンによる子宮内膜増殖抑制効果が検証されました。
２．本剤は、エストラジオール及び酢酸ノルエチステロンが更年期障害治療に必要な最適用量を一定の速度で放出されるように設計された貼付剤であり、従来の経口剤に比し、少ないホルモン放出量で持続的な薬効が得られ、また、肝臓での初回通過効果を受けないため、肝臓への負担が少なく、脂質代謝・タンパク合成への影響を抑えることができます。
３．本剤は、1 週間に 2 回貼り替えるだけでホルモン補充療法を簡便且つ確実に実施でき、投薬コンプライアンスの向上が期待できます。

メノエイド®コンビパッチは、ホルモン補充療法における理想的製剤として日本産科婦人科学会、日本更年期医学会、日本生殖医学会から推奨されております。

当社の新薬第１号として上市されるメノエイド®コンビパッチを、更年期障害治療の新たな選択肢として広く先生方にご提案し、更年期障害に悩む多くの女性の健やかな明日に貢献していきたいと考えております。

以　上